

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達療育クラス ラブアリス江別校2組		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 10日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年 12月 24日		2024年 12月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所への愛着、利用者様が喜んで通所が行えている点。	・見学時の話しやすい雰囲気作り、実際に活動へお試して参加し、お子さまとどうやって関わっていくかを保護者様に見ていただく。 ・契約時には内容で必要な項目の詳細をわかりやすく伝える。	・現在行っている事を継続するとともに、個人面談や送迎時申し送りなどを活用しながら、保護者様と定期的に連携がとれやすい環境作りを行う。
2	・個別療育による巧緻性、運動、学習対応。	・利用者様一人一人に合わせた個別課題、目標設定によるトレーニング。 ・送迎時申し送りなどを通して、その時のお子様の様子や困り感を聞いていく。	・現在行っている事を継続するとともに、個人面談などを行いながら保護者様と定期的に連携をとり、現状の困り感や気になっている事を聞いて療育の中で反映させていく。
3	・SSTや支援者が仲介しながら行うコミュニケーション練習。	・SSTは利用者様が関連しそうな出来事から行い、状況をイメージして考えやすいようにしている。 ・コミュニケーションの練習は本人の思いを汲み取りつつ相手の思いを理解できるよう仲介し、どうしたら良いかを考えられるよう練習していく。	・現在行っている事を継続するとともに、支援者によって仲介の仕方や対応方法が大きく変わらないよう、会議の場で「どのような場面で、こういった対応をしたか」を職員間で共有、統一化を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・祝日や季節の行事での特別活動。	・内容の検討に時間がかかり、利用者様への共有が遅くなりやすい。	・次月の活動は出来る限り前月中に決定し、利用者様へ別紙や利用予定表にて詳細共有を行う。
2			
3			